



地元石岡で MUCC の聖域を発見！ 石岡市ふるさと大使 「MUCC 聖域」がオープン

まちかど情報センターにて、石岡市ふるさと大使「MUCC」関連のグッズなどを展示する「MUCC 聖域」がオープンしました。6月9日から30日まで行われた特別企画展示には、全国から多くのファンや地元商店街の人達などが訪れ、約100点ほどある展示品を楽しんでいました。

また、市内でしか買えない限定コラボステッカーも販売中です。詳しくはこちらからご確認ください▶



▲特別企画展示の様子。MUCCの世界観に合わせ黒を基調とし、小物の細部までこだわりある展示が施されていました。



▲美濃部さん、清水さんの音楽に関するトークも交えながら、アットホームな雰囲気のコンサートとなりました。

音楽から始まる特別な1日を ギター文化館にて第1回 モーニングコンサート開催

1回目となる今回のコンサートでは、水戸市出身のユーフォニアム奏者 美濃部夏美さんの独奏を皮切りに、ピアニスト 清水新さんとの共演で数々の演目が披露されました。演奏終了後には、観客の鳴り止まない拍手によるアンコールの声に応える様子も。次回は7月30日、8月20日開催予定です。八郷の豊かな自然に囲まれたギター文化館で、すばらしい朝を迎えてみませんか？詳しくはこちらから▶



市民の安全・安心を守る拠点に 石岡市消防団第23・24分団 詰所開所式を開催

6月11日、石岡市消防団第23・24分団詰所の開所式が行われ、市長をはじめ、来賓者、林地区の区長の皆さんが参加し、新施設の完成を祝いました。

谷島市長は「消防団は地域に密着し、災害時には現場に駆けつけ、日夜を問わず活動している」と感謝の言葉を述べました。

頻発化、激甚化している近年の災害に対して、この施設を林地区の新たな防災拠点として最大限に活用し、市民の安全・安心を守ることを誓いました。



▲(右上) 引き渡しの様子。櫻井健 石岡市消防団長(左)と谷島市長(右) (左下) 石岡市消防団 第23・24分団 団員の皆さま



健康づくり・介護予防に貢献 シルバーリハビリ体操指導士 へ感謝状が贈呈

6月19日、永年にわたり地域住民の健康づくりや介護予防の推進に貢献したシルバーリハビリ体操指導士に対し、県から感謝状が贈られました。市からは、知事賞に14人、県立健康プラザ管理者賞に2人の計16人が受賞しました。

シルバーリハビリ体操指導士は、県が養成するボランティアの方々。高齢化が進む中、自らも介護予防に取り組み、互助精神に基づいた活動を行う指導士の皆さんの、今後ますますの活躍が期待されます。



▲（前列左から）鈴木美代子さん、齋藤千佐子さん、石橋ちい子さん、志田昇さん、福田美佐子さん、小田央子さん、瀧田やえさん（後列左から）濱慶子さん、高橋春江さん、栗原恵子さん、大関とも子さん、石川弘子さん、古木悦子さん、谷島朋子さん（当日欠席）皆藤弘寿さん、立川弘子さん



▲小学生3人と高校生1人が1つのグループとなり、慣れない作業にお互いとまどいながらも、鉢植えを完成させていました。

石岡第一高等学校×杉並小学校 高校生から小学生へ伝える マリーゴールドの鉢植え

杉並小にて石岡一高造園科1年生によるマリーゴールドの鉢植え教室が行われました。今回鉢植え体験をしたのは、杉並小1・2年生の児童。植物を実際に植えるのは初めての児童もあり、石岡一高生は土の扱い方や花の植え方、水のやり方を熱心に教えていました。色とりどりのマリーゴールドは石岡一高造園科栽培の授業で育てられ、市内各位に配布されています。小学生への鉢植え教室は今回が初の試みとなり、今後の高校生達の活躍に期待です。

子どもたちの学びにつながる 地域在住の久保田さんより 園部小学校へ図書への寄贈

園部小では、図書の寄贈を受けて、全校生徒が参加するオンラインの集會が開催されました。寄贈された本は図書室「久保田文庫」にて閲覧が展開されており、昭和57年から代々続く本の寄贈総数は全部で1870冊です。児童を代表して6年生の仁平さんより、真家地区在住の久保田さんへ感謝の言葉が述べられました。寄贈された本には、読書が児童達の習慣となつてほしいという久保田さんの思いが込められています。



▲（写真左より）園部小学校井元校長先生、(株)進貢 代表取締役 久保田孝さん、図書委員の児童達